

令和元年度 復旧・復興カレンダー

26日 蔵王エコライン開通



3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

5日 道路クリーンキャンペーン



「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに、管内の道路において清掃活動を行い、約158kgのゴミを回収しました。

12～13日 台風19号による被害発生



10月12日から13日にかけての台風19号(令和元年東日本台風)により、管内では道路94件、河川193件(国災)に及ぶ甚大な被害が発生しました。

21日 大師・姥ヶ懐「志賀姥ヶ懐トンネル」開通式



平成24年度から事業を進めてきた(主)岩沼蔵王線大師 姥ヶ懐道路改良事業について、志賀姥ヶ懐トンネルを含む岩沼市大師地区から村田町姥ヶ懐地区までの3.7km区間が開通しました。

27日 船岡歩道橋補修工事完成



隣接する小学校と、通学路の迂回路や安全管理について、綿密に連絡調整を図りながら万全の対策を行い、工事を完成させました。

6月5～13日 土砂災害防止月間パトロール



土砂災害防止月間(6月)に、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。

30日 夏休み親子現場見学会



小学生を対象に、土木事業への理解と興味を持ってもらえるよう、宮城県建設業協会仙南支部と共催し、岩沼市～村田町の志賀姥ヶ懐トンネルで親子現場見学会を開催しました。

27日 館矢間外舗装補修外工事完成



丸森町内の(国)113号館矢間地区(写真)ほか3地区の舗装補修工事が完成しました。

10日 支倉道路改良工事着手



平成28年度から各種測量設計や仙台市との協議等を進めてきた(国)286号の支倉地区で、道路改良工事に着手しました。

11日 大鷹沢大町道路改良工事完成



沿道のため池を地盤改良により埋め立てながら道路改良を進め、2工区・約500m区間が完成しました。

24日 小田川築堤工事完成



市道沼南橋橋梁工事に先立ち、平成30年度から小田川築堤工事に着手し、一部が完成しました。

(1) 事業目標

以下の目標のもとに、仙南地域の振興発展と暮らしの安全・安心を支え、豊かさを実感できる県土づくりを推進する。

- ◇ 震災復興後を見据えた、新たな施設整備と既存施設の維持管理とのバランスの取れた社会資本整備の推進
- ◇ ゲリラ豪雨や蔵王山噴火等、仙南地域の特徴を踏まえた災害に強い社会資本整備の推進

(2) 主な施策

- ◆仙南地域の産業振興や広域防災に資する基幹的インフラの整備
 - ① 広域幹線道路ネットワークを形成する交通軸の整備
 - ② 地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備
- ◆防災・減災対策の強化
 - ① 災害に強い道路の整備推進と「予防保全型」の維持管理への転換
 - ② ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
 - ③ 蔵王山噴火に備えた防災体制の強化
- ◆仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進
 - ① 歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
 - ② 県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
 - ③ 多様な主体との連携による道路・河川の整備と維持管理体制の強化
 - ④ 住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進

(3) 主要な事業

- ◆仙南地域の産業振興や広域防災に資する基幹的インフラの整備
 - ① 広域幹線道路ネットワークを形成する交通軸の整備
 - ・ 国道 113 号 福岡蔵本道路改良事業
 - ・ 国道 286 号 支倉バイパス整備事業
 - ・ 主要地方道岩沼蔵王線 大師～姥ヶ懐道路改良事業
 - ・ 主要地方道仙台村田線 菅生SIC整備事業
 - ・ 都市計画街路小池石生線 末広町街路事業
 - ・ 国道 349 号 県境部
 - ② 地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備
 - ・ 主要地方道 白石丸森線 大鷹沢大町地区
 - ・ 主要地方道 白石丸森線 大張館矢間地区
 - ・ 主要地方道 丸森柴田線 坂津田地区
 - ・ 一般県道 蔵王大河原線 新寺地区 など
- ◆防災・減災対策の強化
 - ① 災害に強い道路の整備推進と「予防保全型」の維持管理への転換
 - ・ (新)橋梁耐震化計画に基づく橋梁耐震補強
 - ・ (新)橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修
 - ・ 国道 349 号 耕野地区、主要地方道白石柴田線 内親地区などの災害防除事業
 - ② ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
 - ・ 雉子尾川、白石川(支障木伐採・堆積土砂撤去等)、小田川(橋梁)
 - ・ 南台沢通常砂防、小屋館沢通常砂防

- ・ 土砂災害(特別)警戒区域の指定
- ③ 蔵王山噴火に備えた防災体制の強化
 - ・ 松川火山砂防事業(蔵王町), 火山噴火対策
- ◆仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進
 - ① 歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
 - ・ 国道 349 号 小坂地区
 - ・ 一般県道 角田柴田線 神次郎地区
 - ② 県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
 - ・ 国道 113 号, 国道 349 号などの県際道路の除雪
 - ③ 多様な主体との連携による道路・河川の整備と維持管理体制の強化
 - ④ 住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進

(4) 復興事業(主要地方道 岩沼蔵王線 大師～姥ヶ懐道路改良事業の完成供用)

主要地方道岩沼蔵王線は、岩沼市を起点とし、村田町を経て、蔵王町に至る幹線道路であり、東北縦貫自動車道と仙台東部道路のアクセス道路であるとともに、仙台空港と内陸部を結ぶ東西軸として位置づけられている重要な路線である。

岩沼市大師地区から村田町姥ヶ懐地区までの約 3.7km区間は、屈曲カーブが多く狭隘で線形が悪い峠道となっており、東日本大震災時には、復旧車両等の通行に支障を来したことから、災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築のため、復興予算にて事業を進めてきたもの。

平成 24 年度より順次事業に着手し、平成 28 年 6 月 4 日にトンネル本体工事に着手し、1 年 8 ヶ月をかけて掘削を進め、平成 30 年 1 月 24 日に貫通式を行った。

トンネル本体工事の平成 30 年 9 月完成に引き続き、トンネル内の非常用設備等工事や村田町側坑口近くの姥ヶ森山橋(上・下部工)工事、全線改良舗装工事等を着実に進め、令和元年 12 月 21 日の無事、完成供用することができた。

トンネル開通式典の写真



供用状況の写真(左:岩沼側, 右:村田側)

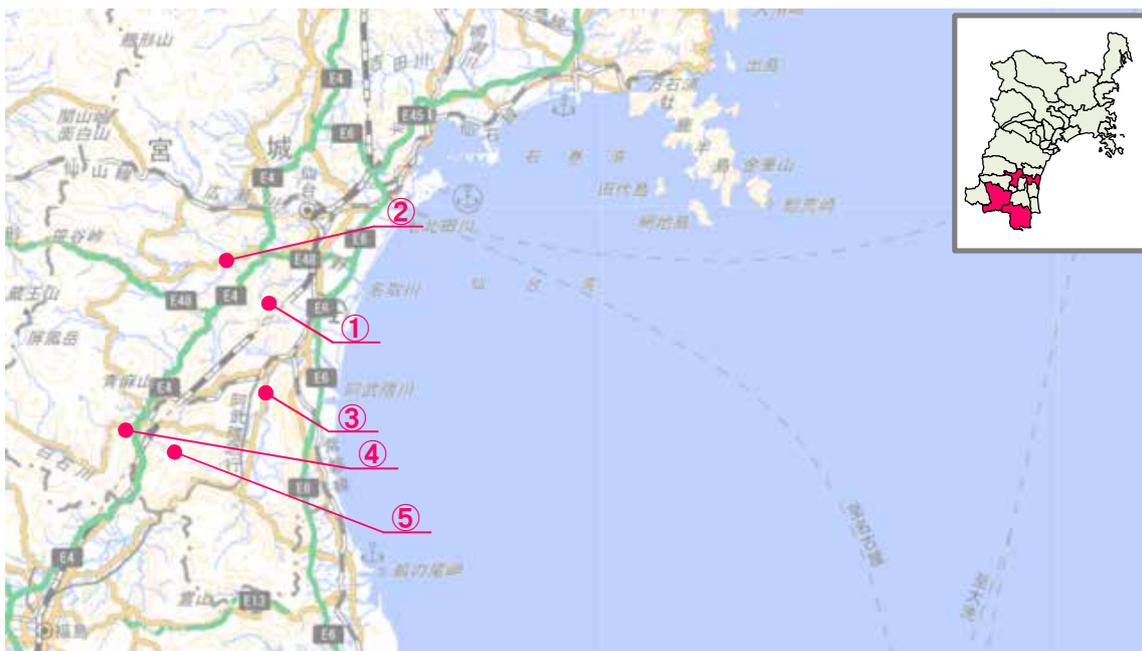


(5) 9年目の課題と対応方針

令和元年10月12日から13日にかけての台風19号(令和元年東日本台風)により、当管内でも堤防決壊や崖崩れ、法面崩壊等が発生するなど、河川193件・道路94件(いずれも国災件数)に及ぶ甚大な被害が発生し、防災・減災体制の強化や災害復旧への対応が求められた1年であった。

今後は、通常事業の計画的な執行と併せて、早期復旧に向けた災害復旧工事の発注等の迅速な対応が求められるが、応援職員も含めた限られた人材の状況下では、発注者支援業務等の活用により効率的に事業を執行していく必要がある。

道路施設の再生・復興状況の写真



志賀姥ヶ懐トンネル開通式



① (主) 岩沼蔵王線 岩沼市志賀地内
道路改良事業

供用状況



① 令和2年3月 現在

施工中



② (国) 286号 川崎町支倉地内
道路改良事業

施工中



② 令和2年3月 現在
施工中

着工前



③ (国) 349号 角田市小坂地内
歩道整備事業

完成



③ 令和2年3月 現在
完成

着工前



④ (国) 113号 白石市福岡蔵本地内
道路改良事業

施工中



④ 令和2年3月 現在
施工中

一部完成区間



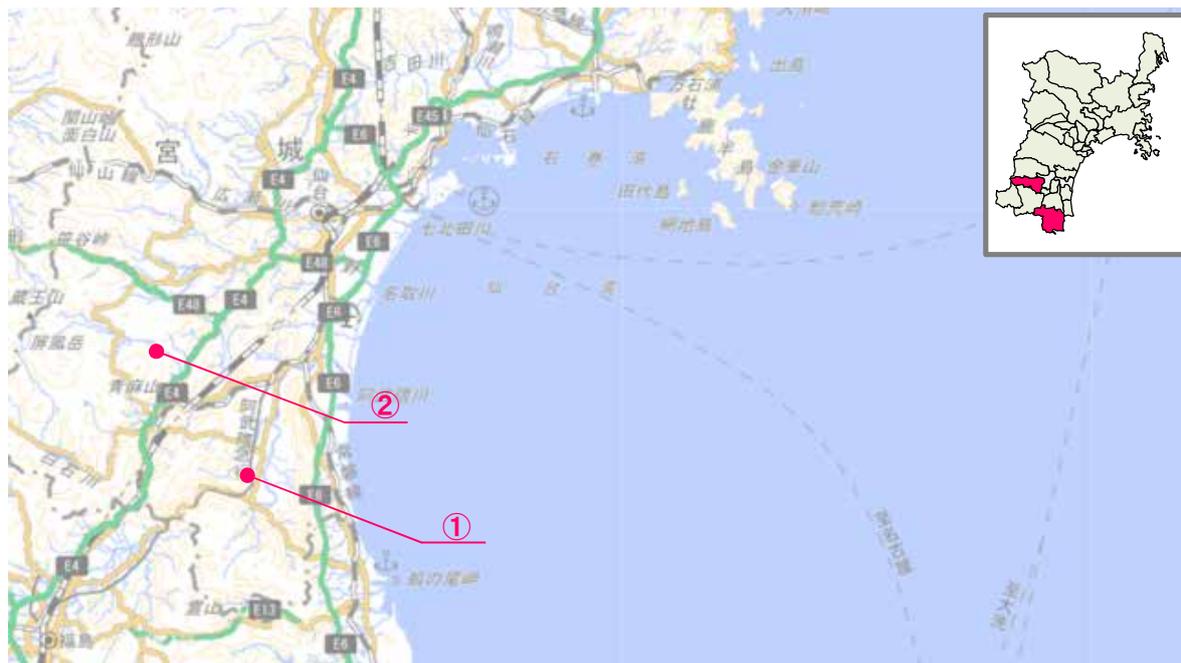
⑤ (主) 白石丸森線 白石市大鷹沢大町地内
道路改良事業

施工中



⑤ 令和2年3月 現在
施工中

河川・砂防施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 小田川 角田市角田大沼地内
河川改修事業（築堤）

施工中



① 令和2年3月 現在
施工中

着工前



② 松川 蔵王町遠刈田温泉地内
火山砂防事業（流路工）

施工中



② 令和2年3月 現在
完成（左岸）



えがお
笑顔



はいっ ずんだもちー



むすび丸

令和元年度 復旧・復興カレンダー

5月24日 **七ヶ浜海岸花浜地区海岸**

花浜地区海岸災害復旧事業の完了 七ヶ浜町花浜地区内

七ヶ浜海岸花浜地区の災害復旧工事が完成しました。
この工事の完成により平成27年度から進めてきたL=268mの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。



5月31日 (主)塩釜亘理線 名取市閑上地内
社会資本整備総合交付金(復興枠)事業の完了



閑上大橋の下部工の耐震補強工事が完成しました。
この工事の完成により平成24年度から進めてきた閑上大橋耐震補強事業が完了しました。

7月18日 (主)奥松島松島公園線 松島町手樽地内
社会資本整備総合交付金事業(復興枠)の完了

経年劣化したモルタル吹付けを改修する災害防除工事が完成しました。
この工事の完成により平成29年度から進めてきた手樽地区の社会資本整備総合交付金事業(復興枠)が完了しました。



8月31日 (一)松島停車場線 松島町高城地内
松島橋(災害復旧事業)の上部工架設完了



東日本大震災で被災し、架替えを行う松島橋の上部工の桁架設が完了しました。
引き続き、松島橋の災害復旧工事を進めています。

10月23日 一級河川名取川水系北貞山運河

北貞山運河河川災害復旧事業の完了 仙台市若林区藤塚地内

北貞山運河河川災害復旧工事(その2)のL=4.5kmが完成しました。
この工事の完成により平成26年度から進めてきたL=5.0kmの北貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。



1月21日 一級河川名取川水系増田川

増田川河川災害復旧事業の完了 名取市小塚原地内外



増田川河川災害復旧工事L=97mが完成しました。
この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.9kmの増田川河川災害復旧事業が完了しました。

3月26日 野々島地区海岸毛無崎地先海岸

毛無崎地先海岸災害復旧事業の完了 塩竈市浦戸野々島地内

毛無崎地先海岸の災害復旧工事が完成しました。
この工事の完成により平成29年度から進めてきたL=0.42kmの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。



5月29日 (主)塩釜亘理線 亘理町荒浜地内

社会資本整備総合交付金(復興枠)事業の完了

亘理大橋の下部工の耐震補強工事が完成しました。
この工事の完成により平成23年度から進めてきた亘理大橋耐震補強事業が完了しました。



7月10日 葛蒲田海岸ビーチクリーン活動を実施



葛蒲田海水浴場の海開きに先立ち、子どもたちが安心して砂浜を走れるようビーチクリーン活動を実施しました。

8月2日 2019夏休み！小学生と保護者の【親子現場見学会】を開催

将来の建設産業を担う人材の確保・育成を目的として、建設業協会と共催で「親子現場見学会」を開催しました。



9月26日 (主)相馬亘理線 山元町坂元地内

(主)相馬亘理線 坂元工区の一部区間供用開始



平成24年度から事業を進めている相馬亘理線の復興交付金事業において、福島県境からL=790m区間の供用を開始しました。
引き続き、全線供用に向け事業を進めています。

12月9日～台風19号による災害査定を受検

10月11日から13日にかけての台風19号の被災による災害査定を受検しました。
仙台土木事務所では、2次査定～7次査定まで河川災害89件、道路災害20件、都市公園災害4件の合計113件を受検しました。



3月19日 一級河川名取川水系中貞山運河

中貞山運河河川災害復旧事業の完了 名取市閑上地内外



中貞山運河河川災害復旧工事L=259mが完成しました。
この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.6kmの中貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

3月21日 貞山運河「桜」植樹会の開催 名取市閑上地内

災害復旧事業が完了した中貞山運河沿いに官民連携で桜を173本植樹しました。
桜を植樹することで運河に新たな景観を創出し、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに、津波意識の醸成や津波体験の伝承を目的としています。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

(1) 事務所の動き

令和元年度は、宮城県社会資本再生・復興計画の「発展期」の二年目であり、東日本大震災からの復旧・復興の総仕上げとして重要な年となるため、先進的な減災・防災機能を備えた災害に強い安全・安心な地域づくりに向けて、自治法派遣職員 11 名を含む職員 150 名 (H31.4.1 現在) が一丸となり各種事業を推進している。

震災の復旧・復興に加え、平成 28 年度から行っている東部土木事務所の業務支援や、平成 29 年の九州北部豪雨災害及び平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害により、自治法派遣職員が任期途中で打ち切りになるなど、よりマンパワー不足に拍車がかかっているため、事務配分の見直しや発注者支援業務などを活用して職員の負担軽減を図っている。

令和元年度の事業費は、現年予算 201 億円と繰越予算 151 億円を合わせて 352 億円で、このうち東日本大震災の復旧・復興事業が 243 億円で全体の 69% を占めている状況であるが、地域の発展を支える(一)大衡仙台線の整備や、災害に強い川づくりを目指す吉田川床上浸水対策特別緊急事業、橋梁の耐震化及び長寿命化対策事業など各種通常事業も併せて進めている。

当事務所では、元気(G)、明るく(A)、楽しく(T)をモットーに、所内の情報の共有化を図り、風通しの良い職場環境づくりに努めるとともに、地域の思いをしっかりと受け止めながら、市町村や多様な関係団体と連携・協働の強化を図り、円滑かつ着実に事業を推進するよう取り組んでいる。

(2) 災害復旧事業(東日本大震災)

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業は、470 箇所全ての箇所に着手しており、今年度は 4 事業が完了し合計で 454 箇所(約 97%)が完了した。また、金額ベースでは、全体事業費 1,450 億円に対して、完成が 701 億円(約 48%)となっているが、出来高支払いベースでは 1,306 億円(約 90%)であり、着実に事業が進んだ一年となった。

東日本大震災 災害復旧事業の進捗状況(R2.3月末)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率	着手率	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率
道路関係	箇所	361	358	3	—	0	99%	100%		
	金額(億円)	194.6	145.1	49.5	28.3	0.0	75%	100%	173.4	89%
河川関係	箇所	105	96	9	—	0	91%	100%		
	金額(億円)	1255.5	555.5	699.7	576.7	0.3	44%	100%	1132.2	90%
全体	箇所	466	454	12	—	0	97%	99%		
	金額(億円)	1450.1	700.6	749.2	605.0	0.3	48%	100%	1305.6	90%

令和元年度の完成箇所は、下記の 4 事業である。

河川事業: 中貞山運河, 花渕浜地先海岸, 増田川, 毛無崎海岸

中貞山運河災害復旧(完成)



花浜地区海岸災害復旧(完成)



(3) 復興事業

①復興交付金事業

被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、市・町の復興まちづくりを支援する復興道路・公園の整備は、15事業を実施しており、平成29年度までに8事業が完成した。

用地補償が難航している(主)相馬互理線及び(都)八幡築港線、(都)山下駅前線については、丁寧な説明と粘り強い交渉を行うとともに、併行して事業認定及び収用裁決の進め、用地隘路7件のうち3件について収用裁決申請の手続きが完了した。また、工事については、用地を取得した箇所から随時事業を推進し、(主)相馬互理線では福島県境790m区間を供用開始した。

復興交付金事業の進捗状況(R2.3月末)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率	着手率	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率
河川事業	箇所	2	0	2	—	0	0%	100%		
	金額(億円)	6	0	6	1.8	0	0%	100%	1.8	30%
道路事業	箇所	9	6	3	—	0	67%	100%		
	金額(億円)	195.1	58.2	136.9	82.2	0	30%	100%	140.4	72%
街路事業	箇所	3	1	2	—	0	33%	100%		
	金額(億円)	97.1	6.5	87.8	73.7	0	7%	97%	80.2	83%
公園事業	箇所	1	1	0	—	0	100%	100%		
	金額(億円)	13.9	13.9	0	0	0	100%	100%	13.9	100%
全体	箇所	15	8	7	—	0	53%	100%		
	金額(億円)	312.1	78.6	230.7	157.7	0	25%	100%	236.3	76%

(主)相馬互理線坂元工区(一部供用)



(都)山下駅前線山寺工区(施工中)



②社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

令和元年度は、道路事業で 7 箇所、河川海岸事業で 6 箇所を実施しており、(主)塩釜亘理線の閑上大橋及び亘理大橋の耐震補強、及び(主)奥松島松島公園線の手樽災害防除事業が完成した。

(主)奥松島松島公園線手樽災害防除事業(完成) 増田川河川改修(施工中)



(4) 東部土木事務所の業務支援

東部土木事務所の業務支援事業一覧表：11事業

工種	事業名	事業区分	事業期間
道路	野蒜道路災害復旧事業	災害復旧	H30完
	州崎道路改良事業	復興交付金	事業中
	宮戸道路改良事業	復興交付金	事業中
河川	東名運河	災害復旧	H30完
海岸	州崎地先海岸	災害復旧	事業中
	大曲地先海岸	災害復旧	H29完
	浜市地先海岸	災害復旧	H29完
	鱒ヶ淵地先海岸	災害復旧	H28完
	長石地先海岸	災害復旧	事業中
	長浜地先海岸	災害復旧	H30完
	東名地先海岸	災害復旧	H29完

平成 28 年 9 月から、東部土木事務所における復旧・復興事業の推進を図るため、当事務所において、東松島市(旧鳴瀬町)分の災害復旧 9 事業(道路 1、河川 1、海岸 7)、復興道路事業 2 事業の計 11 箇所について業務支援を行っている。令和元年度の支援体制は、32 名(プロパー職員 25 名、自治法派遣職員 7 名)が東部土木事務所との兼務発令により対応しており、4 事業について継続して事業を行っている。

州崎地先海岸災害復旧(部分完成)



長石地先海岸災害復旧(施工中)



(5) 通常事業

- ①(一)大衡仙台線宮床工区では、舗装を除く改良工事を全て発注し、令和2年度末で完成できる見込みとなった。
- ②吉田川床上浸水対策特別緊急事業では、用地隘路を除く箇所での用地買収を行い、5件の工事を発注することができた。
- ③土砂災害警戒区域は、管内 2,452 箇所全ての基礎調査を完了した。この内、約 75%に当たる 1,833 箇所は指定済みとなっており、残る 619 箇所についても年度内に説明会を終え、来年度には指が完了できる見込みとなった。

(一)大衡仙台線宮床工区(施工中)



吉田川床上浸水対策事業(施工中)



(6) 9年目の課題

①事業進行管理について

復旧・復興事業を令和2年度まで完了させるため、各事業における進行管理や打合せを各部内で定期的に行うとともに、所内での進行管理会議には主務課も参加し、問題や懸案事項の解決に向けた検討を行うなど、情報共有を図りながらきめ細やかな進行管理を行った。

②用地隘路箇所について

用地取得については、特に自治法派遣職員の懸命な努力もあり、今年度末で要取得筆数の99.1%まで取得することができた。

土地収用法による収用裁決申請については、用地隘路7件のうち3件で手続きが完了し、令和2年度の上半期には工事着手が可能な見込みとなった。残る4件について任意交渉を強化し、並行して収用手続きも進めながら早期妥結を図る。

復旧・復興事業における用地取得状況(R2.3月末)

区分	要取得筆数	H29		H30		R1		R2以降 残数
		取得累計	取得率	取得累計	取得率	取得累計	取得率	
復旧事業	1,319筆	1,317筆	99.8%	1,317筆	99.8%	1,319筆	100.0%	0筆
復興事業	1,700筆	1571筆	92.4%	1,648筆	96.9%	1,672筆	98.4%	28筆
合計	3,019筆	2,888筆	95.7%	2,965筆	98.2%	2,991筆	99.1%	28筆

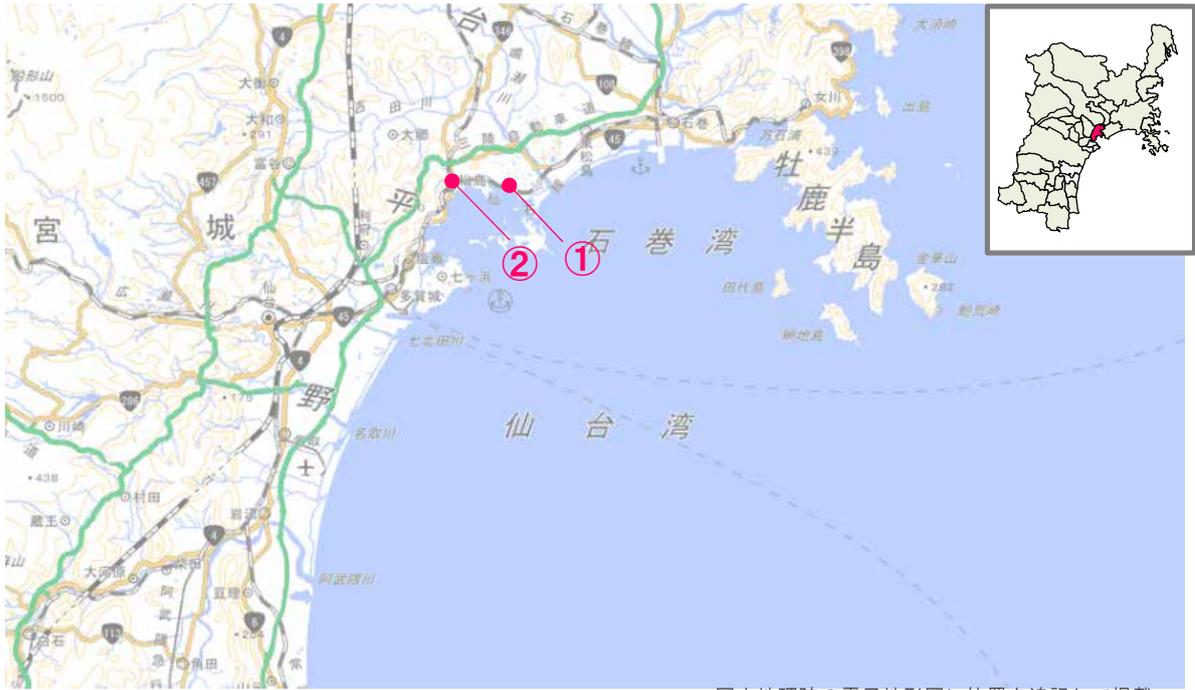
③マンパワー不足について

平成29年の九州北部豪雨及び平成30年7月の西日本豪雨による自治法派遣職員の打ち切りなどによるマンパワー不足がより顕著となったほか、用地業務では災害復旧事業の買収がほぼ完了するなど、事業の進捗に伴い各班の業務量に差が生じているため、引き続き監督支援業務や積算業務を活用するとともに、平成30年度からはCM業務を実施。令和元年度でも新たに1件のCM業務を実施し、職員の負担軽減を図っている。

また、班毎の担当地区にかかわらず、部内全体で業務シェアを実施。年度途中であっても繁忙となっている班の業務を比較的余裕ができた班にフレキシブルに業務替えすることで、班間の業務量の均等化を図り、円滑な事業の推進を図っていく。

更には、事業の円滑化及び職員育成を図るため、若手職員と現場経験豊富な任期付き職員などの監督員二人制を試験的に実施したが、双方協力して円滑に監督業務を進めることができたことから、引き続き運用の拡大を図っていく。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 主要地方道奥松島松島公園線 松島町手樽地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）事業

完成



① 令和元年7月
完成

着工前



② 一般県道高城停車場線 松島町高城地内
災害復旧事業

一部完成



② 令和2年2月
一部完成

道路施設の再生・復興状況の写真



着工前



① (主) 塩釜亙理線 名取市閑上地内
社会資本整備総合交付金 (復興枠) 事業

完成



① 令和元年5月
完成

着工前



① (主) 塩釜亙理線 名取市閑上地内
復興交付金事業

施工中



② 令和2年3月
施工中

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (都) 八幡築港線 塩竈市舟入地内
復興交付金事業

施工中



① 令和2年3月
施工中

着工前



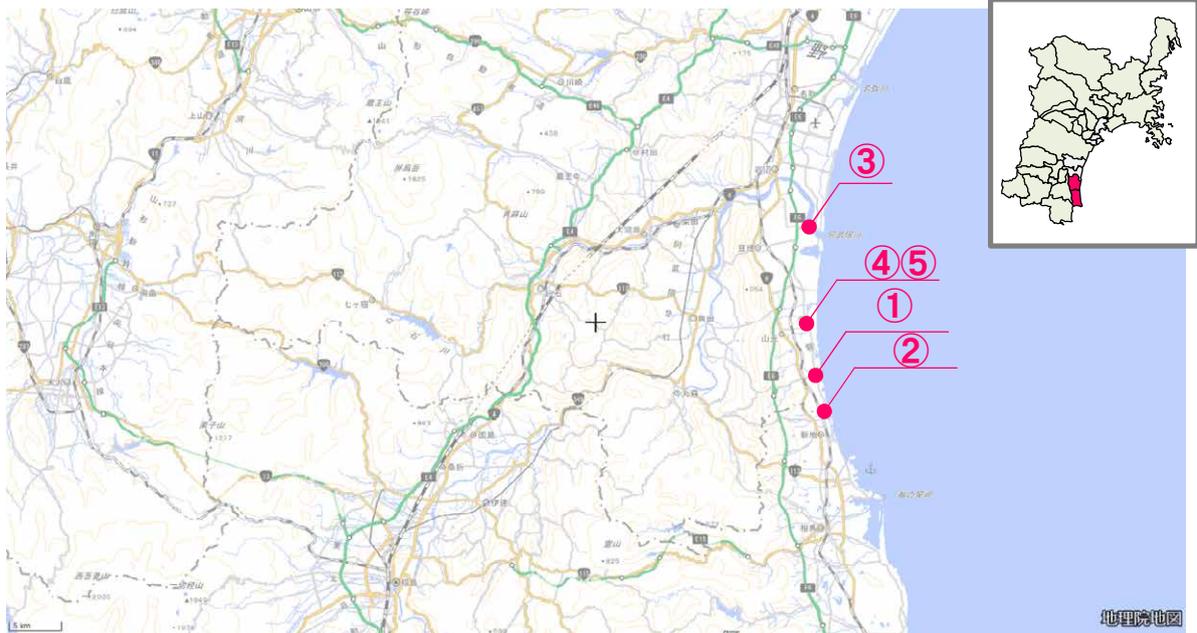
② (一) 利府中インター線 塩竈市庚塚地内
社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

施工中



② 令和2年3月
施工中

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (主) 相馬互理線 山元町坂元(旧坂元駅)地内
相馬互理線道路改良事業 (復興交付金)

一部完成



① 平成31年4月
一部完成

着工前



② (主) 相馬互理線 山元町坂元字磯作地内
相馬互理線道路改良事業 (復興交付金)

一部完成



② 令和元年8月
一部完成

道路施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ (主) 塩釜亘理線 亘理町荒浜地内
社会資本整備総合交付金 (復興枠) 事業

完成



③ 令和元年 5 月
完 成

着工前



④ (一) 山下停車場線 山元町浅生原地内
復興交付金事業

完成



④ 令和元年 1 0 月
完 成

着工前



⑤ (一) 山下停車場線 山元町山寺地内
復興交付金事業

施工中



⑤ 令和元年 1 2 月
施工中

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 一級河川名取川水系南貞山運河 岩沼市下野郷地内
災害復旧事業

一部完成



① 令和元年7月
一部完成

着工前



② 一級河川名取川水系南貞山運河 名取市下増田地内
災害復旧事業

一部完成



② 令和元年12月
一部完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ 一級河川名取川水系南貞山運河 名取市下増田地内
災害復旧事業

一部完成



③ 令和元年12月
一部完成

着工前



④ 一級河川名取川水系増田川 名取市杉ヶ袋地内
災害復旧事業

完成



④ 令和2年1月
完成

着工前



⑤ 一級河川名取川水系増田川 名取市杉ヶ袋地内
災害復旧事業

完成



⑤ 令和2年1月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 二級河川七北田川水系七北田川 仙台市宮城野区蒲生地内 (左岸)
災害復旧事業

施工中



① 令和2年3月
施工中

着工前



② 花浜海岸 七ヶ浜町菖蒲田地内
災害復旧事業

完成



② 令和元年5月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ 菖蒲田海岸 七ヶ浜町菖蒲田浜地先
災害復旧事業

完成



③ 令和元年9月
完成

着工前



④ 名取川水系北貞山運河 仙台市若林区藤塚地内
災害復旧事業

完成



④ 令和元年10月
完成

着工前



⑤ 二級河川七北田川水系七北田川 仙台市宮城野区蒲生地内 (右岸)
災害復旧事業

完成



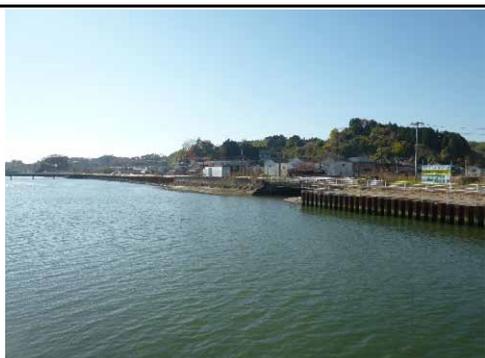
⑤ 令和元年4月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 二級河川高城川水系高城川 宮城郡松島町高城地内
復興交付金事業

完成



① 令和2年3月
水門完成

着工前



② 塩釜海岸野々島地区海岸毛無崎地先海岸 塩釜市浦戸野々島字毛無崎地先
災害復旧事業

完成



② 令和2年3月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 一級河川阿武隈川水系五間堀川 岩沼市下野郷地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）

完成



① 令和2年3月
完成

着工前



② 一級河川阿武隈川水系五間堀川 岩沼市下野郷地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）

施工中



② 令和2年3月
施工中



令和元年度 復旧・復興カレンダー

4月26日～5月10日 県道における冬期通行規制の解除



冬期通行規制区間について、(一)岩入一迫線と(一)沿倉鳴子線は4月26日に、(主)最上鬼首線は5月10日に規制を解除しました。栗駒国定公園を中心とした行楽地や温泉地等への往来が可能となり、観光振興や交流拡大等の効果が期待されます。

6月30日 (一)涌谷三本木線 三本木橋の橋梁耐震化・橋梁補修の完了



大規模災害発生時等の救援・支援路の確保に向け、緊急輸送路における橋梁の耐震化や補修を実施し、機能強化を図っております。鳴瀬川に架かる(一)涌谷三本木線の三本木橋では、6月末に工事が完了しました。

8月1日 「2019夏休み！親子現場見学会」の開催

未来の建設業を担う人材確保・育成に加え、地域の安全・安心を担うダム、連携・交流のほか災害時に救援・支援路の役割を果たす道路について学んでもらおうと、漆沢ダムと冬期の通行確保に重要な国道347号沿いの門沢除雪基地を会場に開催しました。



ダムではスケールの大きさを実感し、除雪基地では除雪機械に搭乗する等、楽しい時間を過ごしました。

8月31日 大江川床上浸水対策特別緊急事業 (JR陸羽東線交差部の函渠工本体完了)



市街地を流れる大江川では、浸水被害の軽減に向け、床上浸水対策特別緊急事業を実施しています。JR陸羽東線交差部では、JR東日本に施工を委託し、綿密な施工計画と安全対策のもと施工を進め、8月に函渠本体が完了しました。

10月29日・11月7日 (都)稲葉小泉線用地説明会の開催

(都)稲葉小泉線は、国道4号を補完する機能のほか、大崎市民病院や古川IC等へのアクセス及び渋滞緩和等の役割を担っています。今年度は用地測量の結果を踏まえ、10月から11月にかけて用地説明会を開催し、住民等の理解と協力が得られたことから、用地取得を鋭意進めております。



11月～1月 土砂災害警戒区域等指定に向けた説明会開催

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査が完了した124箇所について、大崎市や涌谷町等において住民説明会を開催しました。今回の基礎調査完了で、管内705箇所全ての調査が完了するとともに、次年度にかけて土砂災害警戒区域等の指定が完了する見込みとなりました。



6月11～19日 土砂災害防止月間におけるパトロールの実施

毎年6月の「土砂災害防止月間」には、崖地等のパトロールを実施しています。今年は管内21箇所の崖地等について、市町や砂防ボランティア等とパトロールを実施し、周辺住民等へ斜面の現況等を説明するとともに、緊急時の早期避難を呼びかけるなど危機意識の醸成を図りました。



7月8日 「国道347号鍋越峠道路管理検討会議」の開催



国道347号の通年通行に伴う安全確保等に向け、有識者や道路利用者等の意見を踏まえ、道路管理計画等に反映していくことを目的に、平成27年より開催しています。今年度は、気象及び通行状況等の報告とともに、夜間通行止時間帯の短縮化に向け、今後検討していくこと等について意見交換を行いました。

8月27日 道路クリーンキャンペーンの実施



当事務所と宮城県建設業協会大崎支部では、毎年8月の「道路愛護月間」に道路クリーンキャンペーンを実施しております。

33回目の今年は、県管理国道道18路線、134kmにおいて清掃活動を実施しました。

9月30日 佐賀川水門の本体整備が完了

田尻川との合流部付近で整備を進めてきた佐賀川水門の本体整備が完了しました。引き続き、築堤や護岸等の整備を図り、沿川地域における浸水被害の軽減を図ります。



10月12～13日 台風19号に伴う管内における被害発生



台風19号により、道路や河川など約200箇所の施設が被災しました。渋井川や名蓋川では堤防が決壊し、広範囲に浸水が発生しました。被災箇所については、再度災害の防止に向け、早期復旧に鋭意取り組んでまいります。

11月30日 国道347号外川地区の防雪柵等追加整備

国道347号における通年通行の安全確保に向け、調査等により防雪柵等の追加箇所について、今年度より整備に着手し、11月に一部が完成しました。引き続き、次年度も整備を実施します。



1月9日 大江川床上浸水対策特別緊急事業 (国道347号橋上部工完了)



大江川の床上浸水対策特別緊急事業に伴う国道347号の橋梁架換については、昨年度より工事を進めてきましたが、1月に上部工が完了しました。今後仮設道路の撤去等を行い、早期の通行開始を目指します。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

(1) 事務所の動き

「宮城県社会資本再生・復興計画」における発展期の 2 年目となる令和元年度(平成 31 年度)は、「大崎地域の持続可能な発展に向け、生活・産業基盤の整備推進と安全・安心な暮らしを支える社会資本整備の着実な推進」を基本方針に、以下を目標として、主要事業をはじめ建築指導や建設業許可等について、所内職員が一丸となり取り組んだ。

- 生活・産業基盤の確立と圏域間の連携・交流拡大を支援する道路整備の推進
- 安全・安心な暮らしを支える治水対策等の推進及び防災力の強化
- 既存施設の機能強化と適正な維持管理

今年度事業は、現年 109 億円、繰越 34 億円(2 月補正含む)の合計 143 億円であり、主な事業について、河川事業では、「大江川床上浸水対策特別緊急事業」による大江川捷水路の整備や渋井川における水門詳細設計等を推進した。道路事業については、都市計画道路並柳福浦線及び稲葉小泉線の用地補償や国道 108 号岡台工区等における道路改良、また橋梁耐震化や舗装補修等を推進した。

さらに、令和元年 10 月の東日本台風(台風 19 号)により、管内では渋井川や名蓋川が破堤するなど、道路・河川等において約 200 箇所にあつた被災箇所が発生した。今後早期復旧及び再度災害防止に全力で取り組むこととしている。

(2) 通常事業

①生活・産業基盤の確立と圏域間の連携・交流拡大を支援する道路整備の推進

大崎市中心市街地のまちづくりと一体となって事業を進めている(都)並柳福浦線は、関連する「大崎市役所周辺区画整理事業」や「古川七日町西地区再開発事業」との調整を図り、公管金対応により用地を取得した。また、(都)稲葉小泉線は一部用地取得に着手した。

圏域間の連携や交流の拡大に向け、国道 108 号岡台工区(大崎市鳴子温泉)や(主)古川登米線大貫工区(大崎市田尻)等において道路改良工事を推進した。



(都)並柳福浦線周辺の開発状況



(国)108号 岡台工区における整備状況

②安全・安心な暮らしを支える治水対策等の推進及び防災力の強化

ア)河川事業

「大江川床上浸水対策特別緊急事業」については、用地補償を全て完了したのをはじめ、工事では、JR東日本に施工を委託していたJR陸羽東線交差部の函渠工や国道 347 号橋等 2 橋が完了するとともに、護岸工等を推進した。複数の工事により現場が輻輳するため、連絡協議会等で工程調整や安全対策等を図り進捗を図った。また、上流端における分水施設の詳細設計を実施した。

田尻川河川改修事業では、田尻川と佐賀川の合流部における佐賀川水門本体が完成した。また、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨や令和元年東日本台風(台風 19 号)で破堤するなど甚大な被害が発生した渋井川では、多田川との合流部における水門の詳細設計を実施した。



大江川捷水路の護岸工整備状況



田尻川との合流点における佐賀川水門本体の完了

さらに、「国土強靱化」予算等を活用し、多田川の河道掘削や出来川等の支障木伐採を推進し、河道の確保による流下能力の向上を図った。



多田川堆積土砂撤去後の状況



出来川支障木伐採後の状況

イ)砂防事業

美里町素山地内における急傾斜地の対策工事を推進するとともに、土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査が完了した 124 箇所について、調査結果を踏まえ住民説明会を開催し、区域等指定に向けた手続きを実施した。

なお、今回の調査により、管内土砂災害危険箇所の基礎調査が全て完了した。

■土砂災害警戒区域指定状況一覧（令和2年3月末現在）

	危険箇所数				調査済み箇所計				指定済み箇所								指定率
	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計		土石流		急傾斜地		地滑り		
									警戒	特別警戒	警戒	特別警戒	警戒	特別警戒	警戒	特別警戒	
大崎市	553	190	332	31	553	190	332	31	554	475	258	205	277	270	19	0	100.2%
色麻町	21	11	10	0	21	11	10	0	19	14	7	6	9	8	3	0	90.5%
加美町	38	16	22	0	38	16	22	0	42	34	26	23	11	11	5	0	110.5%
涌谷町	87	29	58	0	87	29	58	0	103	89	61	50	41	39	1	0	118.4%
美里町	7	7	0	0	6	6	0	0	7	6	1	0	6	6	0	0	100.0%
合計	706	253	422	31	705	252	422	31	725	618	353	284	344	334	28	0	102.7%



住民説明会状況(大崎市古川地区)



住民説明会状況(大崎市岩出山地区)

③既存施設の機能強化と適正な維持管理

国道 347 号鍋越峠では、冬期間の通行の安全を確保するため、12月1日午後7時から翌年3月31日午前7時まで夜間通行止めとしている。

これまで冬期間等を実施した斜面点検結果等を踏まえ、今年度から雪崩対策施設の整備に着手した。

今後とも気象データや除雪実績等を蓄積し、円滑かつ適確な除雪作業による通行の確保とともに、雪崩施設整備を推進し、冬期間における通行の安全性の向上を図っていく。



(国道 347 号鍋越地内)雪崩対策整備状況

④令和元年東日本台風(台風 19 号)災害の復旧に向けて

災害査定では、被災箇所を統合し 98 件で査定に臨んだ。このうち 84 件で効率化(簡素化)を適用したため、今後測量及び詳細設計を実施し、速やかに設計変更協議を行い、復旧工事に早期着手していく。



災害査定(机上査定)の様子

工種別査定決定状況について

工種	路線・河川数	査定決定箇所数	決定額(百万円)
道路	4	8	285
河川	26	87	3,505
砂防	2	3	107
合計		98	3,897

(3) 復興事業

「宮城県新橋梁耐震化計画」に基づく橋梁耐震化事業では、三本木橋((一)涌谷三本木線)が完了するとともに、仙北沢橋((一)沼倉鳴子線)、大沢川橋((主)最上鬼首線)の2橋の耐震補強工事に着手した。全体計画19橋のうち14橋が完了、2橋が整備中であり、未整備3橋は令和2年度に整備予定である。



(一)涌谷三本木線三本木橋の耐震補強完了状況

(4) 9年目の課題

①「大江川床上浸水対策特別緊急事業」の完了

関連する都市計画道路事業等との調整や工程管理、安全対策等の徹底等を図り、令和2年度完了を目指す。

②東日本台風(台風19号)被害を踏まえた治水対策

破堤等の甚大な被害が発生した渋井川や名蓋川では、被災箇所以外の区間について堤防点検等を実施し、従来の対策との比較、検証及び学識者から意見聴取しながら堤防補強や河道掘削等の対策工を検討する。

また、河道掘削においては、多田川整備計画に基づき、上流区間や支川区間等の改修に早期に着手できるよう、掘削土等を多田川下流域の腹付盛土に活用するなど水系一体となり整備を推進する。

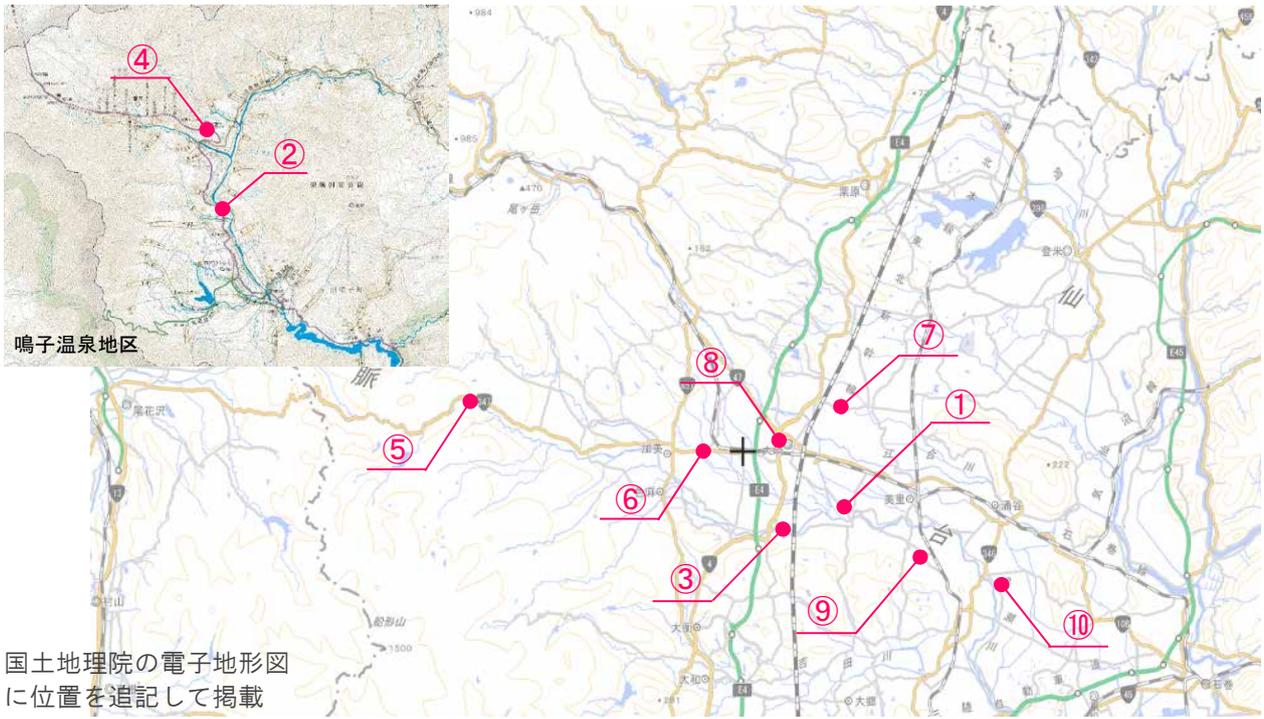
③大崎市内における都市計画道路の整備推進

(都)並柳福浦及び(都)稲葉小泉線は、関連する「大崎市中心市街地復興まちづくり計画」や「大江川床上浸水対策特別緊急事業」との調整、綿密な施工計画や安全対策を図りながら事業を推進する。また駅前広場等の整備に伴い、(都)鹿島台駅前線等における新規道路整備(電線類地中化)を推進する。

④業務執行体制について

令和2年度は、都市計画道路において電線類地中化を伴う道路整備の着手、東日本台風や補正予算等への対応など、これまでと比較して膨大な業務量が想定される。このため、所内における柔軟な人員配置、発注者支援の導入等を含め、円滑かつ適確な執行体制を構築し、事業推進を図っていく。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図
に位置を追記して掲載

着工前



① (主) 古川松山線 大崎市古川下中目～松山下伊場野 地内
下中目 (志田橋) 道路改良工事

完成



① 令和2年2月
完成

着工前



② 国道108号 大崎市鳴子温泉岡台地内
岡台道路改良工事

完成



② 令和2年3月
完成

着工前



③ (一) 涌谷三本木線 大崎市三本木地内
三本木橋橋梁耐震補強工事

完成



③ 令和元年7月
完 成

着工前



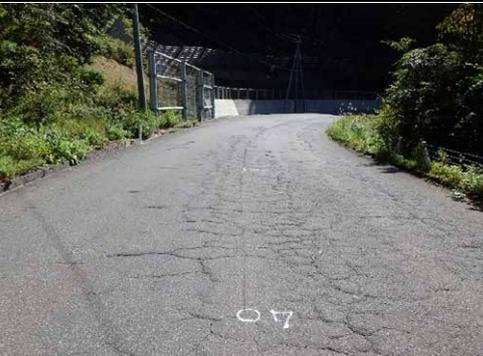
④ 国道108号 大崎市鳴子温泉鬼首大森平地内
鬼首大森平外舗装補修工事

完成



④ 令和元年11月
完 成

着工前



⑤ 国道347号 加美町門沢地内
鍋越舗装補修工事

完成



⑤ 令和元年12月
完 成

着工前



⑥ 国道347号 大崎市古川飯川地内
古川飯川外舗装補修工事

完成



⑥ 令和2年1月
完成

着工前



⑦ (主) 古川登米線 大崎市古川狐塚地内
古川狐塚舗装補修工事

完成



⑦ 令和2年3月
完成

着工前



⑧ (主) 古川佐沼線 大崎市古川西館地内
西館外舗装補修工事

完成



⑧ 令和元年9月
完成

着工前



⑨ (主) 鹿島台高清水線 大崎市松山金谷地内
古川松山外舗装補修工事

完成



⑨ 令和2年2月
完成

着工前



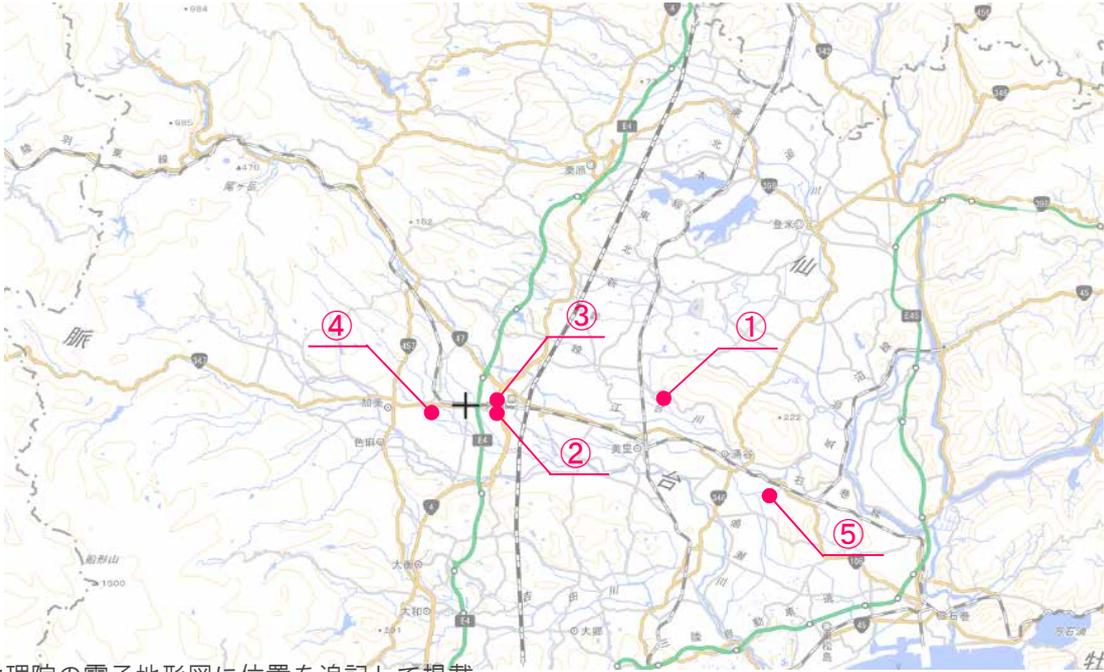
⑩ (一) 鳴瀬南郷線 美里町南郷地内
南郷木間塚外舗装補修工事

完成



⑩ 令和2年2月
完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 一級河川北上川水系佐賀川 大崎市田尻大沢地内
佐賀川水門ゲート工事

完成



① 令和元年9月
完成

着工前



② 一級河川鳴瀬川水系大江川 大崎市古川竹ノ内地内
大江川付帯工（JR函渠）工事

完成



② 令和元年8月
完成

着工前



③ 一級河川鳴瀬川水系大江川 大崎市古川竹ノ内地内
大江川河川改修（国道橋）工事

完成



③ 令和2年1月
完 成

着工前



④ 一級河川鳴瀬川水系多田川 加美町平柳地内
多田川外河道掘削工事

完成



④ 令和元年9月
完 成

着工前



⑤ 一級河川北上川水系出来川 涌谷町名鱈地内外
出来川外支障木伐採業務

完成



⑤ 令和2年1月
完 成

砂防・急傾斜地施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 素山 遠田郡美里町桜木町地内
素山急傾斜崩壊対策

完成



① 令和2年3月
完 成

